



アメカル耳鼻科クリニック



アメカル耳鼻科クリニック 真栄田 宗慶



アメカル耳鼻科クリニック

クリニックの名称は当初から自分の名前より、地域にちなんだ名称にしたかった。地番は那覇市銘苅であるが、小道ひとつで安謝であり、近隣の天久と曙が、ちょうど「A」からはじまり、銘苅と真栄田の「M」を組み合わせ、耳鼻科と判るように額帯鏡を上にしたロゴマークを検討した。AとMは基部で繋がって閉じた形となっているが、開いた形にすると四足のアリのように異様になってしまい、閉じた形で収まりが良かった。中央部の囲まれた空間は目立つように赤にし、ハートをこめて診療することを肝に銘ずることにした。ローマ字表記だ

とAMEKALUになるがMedicalの「cal」をもじってAMECALにした。

「耳鼻咽喉科」でなく「耳鼻科」にしたのは名称が長くなりすぎることもあるが、咽喉科の「喉」の文字が医療関係者でも案外誤字で書くことが多く、よく気候の「候」に似せて字を当てる。説明に「侯爵」の「侯」を引き合いに出し、気候の「候」だとノドにトゲが刺さった状態と話す「侯爵」自体が若い人には死語に近いのかピンとこないようだ。

厚生労働省の正式な表記は「耳鼻いんこう科」とひらがなになっている（役人も間違えるため?）。電子カルテではPCによっては最初の漢字変換に「淫行」が出てきて腹立たしい思いをする事がある。話はだいぶ逸れてしまったが、領収書を書いてもらう際は少し短くて書きやすいのではと思っている。

ロゴマークを評して友人の奥さんが、「天使が羽を広げたみたい」と言ってくれて嬉しかったが、大リーグをみて、Angelsのマークがちょっと似ていて頭の片隅にあったのかなと後で思った。

